

## 2002年5月号 イスラム

NI No345 May 2002 ISLAM

<内容>  
(本文は英語です)

### 抵抗と改革

何が間違っていたのか?なぜ、イスラムと西洋の間には、疑念と暴力が渦巻いているのか?世界の偉大な宗教のひとつ、イスラムの現状を批判的に読み解き、非常事態を乗り越える方策を探る。



### イスラム文明年表

### イスラムの基本

### アーイシャの伝説

### コーランに見る、イスラムにおける女性の権利。

### イスラム教徒 - その事実

### イスラム教徒は民主主義社会にふさわしいのか?

### 頑固なイメージ

乱暴、粗野、邪悪、狂信的、退廃的...かたくななまでに西洋が持ち続けるイスラムのイメージと、それによって生じた被害について。

### 良い企業

イスラム経済学と道徳的な投資との間に多い共通点。

### 架け橋を作る

昔からイスラム教徒達は、国々を渡り歩く移住者であった。その過去の体験から学んだ現在への重要な教訓。

### アクション

書籍、ウェブサイト、団体情報。

\*その他、世界の状況を伝えるニュースや報告も掲載\*

NI (英語版、A4サイズカラー、約40ページ) と日本編集のNI-Japan(日本語、A4サイズモノクロ、12ページ)をセットでお届けします。

【年間購読(1・2月号は合併号のため年11回発行)】

10,500円(送料、消費税込み)

【お試し用最新号またはバックナンバー】

1,000円(送料、消費税込み)

イスラムと西洋の間では争いが絶えないようだ。9月11日以前でさえ、イスラムは西洋の自由や発展の敵であると広く考えられていた。暴力と偏屈、狂信と専制主義、石油と混乱以外に、イスラムには何があると言えるのか?素晴らしい歴史と偉大な文明に支えられたイスラムは、果たして21世紀に順応していけるのか?

今月号では、批判的な視野を持ったイスラム教徒達が、どのようにしてイスラムを現代のモラルと倫理への力として再検討・再構築していくのかを探る。イスラム教徒の作家・思想家・活動家達が、最も人間的で全般的な信仰の解釈、女性に関する課題、民主主義、開発等、イスラム内での議論を分析し、9月11日以降の世界で、どう歩んで行けるのかを提案する。

NI Japan No.33 2002年5月号 イスラム

<内容>  
(本文は日本語、一部英語です)

<今月のメインテーマ記事>

「イスラム内部の  
改革と抵抗  
(NI本誌p9-13)の翻訳

「イスラムとは?」  
(NI本誌p14-15)の要約・翻訳

<Reporting from Japan>

あなたにとってイスラムとは?

- イスラムに接している人々の生の声

お姉ちゃんがムスリムと結婚した 佐伯 有美

イスラムにとる革命と友愛 久保田 東作

チュニジアで経験したイスラム 瞬間の大切さ  
常味 裕司

実生活に反映される宗教

モハマド・アリ・サダト・レザエイ

<Contact Points>

イスラムについて勉強する、スタディーツアー、アラブ音楽、トルコ料理、Website情報

<Country Profile>

「世界の国のプロフィール - キルギスタン」

(NI本誌p36の翻訳)

\* ホームページから、購読お申し込みやバックナンバー照会もご利用頂けます。



<お問い合わせ・お申し込み>

有限会社インティリンクス

〒193-0843 東京都八王子市甘里町46-2

Tel / Fax : 0426-29-4863

E-mail : info@ni-japan.com

URL http://www.ni-japan.com/